

報告事項エ

令和3年度第3回鳥取県ヤングケアラー対策会議の開催結果について

令和3年度第3回鳥取県ヤングケアラー対策会議の開催結果について、別紙のとおり報告します。

令和4年4月13日

鳥取県教育委員会教育長 足 羽 英 樹

令和3年度第3回鳥取県ヤングケアラー対策会議の開催結果について

令和4年4月13日

いじめ・不登校総合対策センター

令和3年度第3回会議を開催したので、概要を報告します。併せて県立高等学校のヤングケアラーについての調査結果について報告します。

1 令和3年度第3回鳥取県ヤングケアラー対策会議の開催結果

- (1) 日 時 令和4年3月24日(木) 午後2時から午後4時まで
 (2) 場 所 鳥取県立図書館大研修室
 (3) 出席者 11名(欠席2名)

| 区分 | 団体名 | 職名 | 氏名 |
|-------|--------------------|--------------|-----------|
| 学識経験者 | 鳥根大学法文学部・人文社会科学研究所 | 教授 | 宮本 恭子 |
| 支援機関 | 鳥取県介護支援専門員連絡協議会 | 会長 | 石田 良太 (欠) |
| | 鳥取中央地域包括支援センター | 所長 | 武田 恵子 |
| | 相談支援センターサマーハウス | 相談支援専門員 | 西田 瑞穂 |
| | 鳥取県医療ソーシャルワーカー協会 | 会長 | 中瀬 香里 |
| 教育 | 鳥取県高等学校長協会 | 会長 | 岩田 直樹 |
| | 鳥取県中学校長会 | 会長 | 山本 淳一 |
| | 鳥取県小学校長会 | 会長 | 大西 泰博 (欠) |
| | 鳥取市教育委員会 | 教育長 | 尾室 高志 |
| | 公立鳥取環境大学 | 事務局次長兼学務課長 | 吉田 道生 |
| | いじめ・不登校総合対策センター | SSW スーパーバイザー | 福島 史子 |
| 行政 | 鳥取市こども家庭相談センター | 所長 | 田中 隆志 |
| | 福祉相談センター | 所長 | 川本 由美子 |

(4) 内容

ア 報告

- ・令和3年度ヤングケアラー支援事業の進捗状況
- ・令和4年度ヤングケアラー支援強化事業

イ 意見交換

- ・アセスメントシートの作成及び運用 【資料】アセスメントシート(案)
- ・令和4年度ヤングケアラー支援強化事業 など

(5) 出席者からの主な意見

○アセスメントシートの作成及び運用について

- ・アセスメントシートという名称は学校にとって既存のアセスメントシートと混同する可能性がある。アンケートという扱いにしてはどうか。
- ・項目「病気や障がいがある家族がいますか」について個人情報を知るのはどうなのか。保護者にどう説明するのか。そちらの立場に立って質問項目を考えるべき。
- ・ヤングケアラーであることは子どもたちにとっては深刻なことなので質問項目に配慮が必要。
- ・(作成した側として) いかんにして学校にスクリーニングしていただくか、ということに焦点を当てすぎている。子ども、保護者の視点から考えること且つ学校がキャッチできる質問項目が必要。

○令和4年度ヤングケアラー支援強化事業について

- ・以前から学校は困難を抱える子どもたちをよく発見している。ただ、発見した後、どこに繋いだらよいかわからない場合が多い。もっと市町村の相談窓口等の周知が必要ではないか。
- ・利用できる福祉制度、医療に関する相談窓口の周知をお願いしたい。
- ・福祉サービスなどそれぞれ機関の特性を踏まえたフロー図が必要ではないか。

(6) 今後のスケジュール(案)

- ・令和4年度第1回の開催、現状の取組の確認、課題及び新たな対策の検討

2 県立高等学校のヤングケアラーについての調査結果について

(1) 調査の目的

ヤングケアラーで困っている生徒をいち早く発見し、支援に結び付ける。

(2) 結果

| | 1年(人) | 2年(人) | 3年(人) |
|---------------------------------------|-------|-------|-------|
| ①自分がヤングケアラーに当てはまる、または過去に当てはまると回答した生徒数 | 37 | 40 | 57 |
| ①のうち、ヤングケアラーの疑いがあり、対応が必要(対応していた)な生徒数 | 11 | 12 | 11 |
| ①のうち、対応が必要でない生徒数 | 26 | 28 | 46 |

(3) 概要

- ・「あなたは自分が「ヤングケアラー」に当てはまる、または過去に当てはまっていたと思いますか」の問いに対して当てはまると回答した生徒は134人(約1.3%)だった。
- ・上記の134人に対しては各学校が聞き取って、学校でスクールカウンセラーによる相談を行ったり、関係機関に繋げたりしている。
- ・対応が必要な生徒34人のうち、外部連携をしているのは19人、学校で対応しているのは15人だった。
※支援の内容については下表
- ・本調査以前に学校がすでに支援をはじめていたケースが多かった。一方アンケートの実施をきっかけに、対応が必要な生徒が新たに分かり、支援に繋げたケースもあった(4人)。

| 支援の内容及び人数(複数回答可) | | | | |
|------------------|---------|-------|----------|------------|
| 要対協連携 | 児童相談所連携 | 市町村連携 | 学校で支援・注視 | 学校(SC,SSW) |
| 9 | 8 | 4 | 15 | 12 |

(4) 今後について

- ・令和4年度第1回ヤングケアラー対策会議で、定例教育委員会(4月)で報告した内容について示し、意見交換を行うとともに、ヤングケアラー支援強化事業に繋げる。

「いえでのせいかつ」アンケート【低学年用】

○あなたの「いえでのせいかつのようす」について、おもっているとおり
こたえてください。

() ねん () くみ なまえ ()

○あてはまるものに☑をしてください。

1. あなたはおうちがたのしいですか

たのしい たのしくない どちらでもない

2. あなたはおうちのひととよくはなしをしますか

する しない どちらでもない

3. びょうきや、しょうがいがある かぞくがいますか

いる いない わからない

4. びょうきやしょうがいがあるかぞくを、おせわをするのは だれですか

(あてはまるひと、ぜんいんに☑をする)

おとうさん おかあさん あなた おにいさん おねえさん

おじいさん おばあさん そのほか (へるぱーさんなど)

5. あなたが、おうちのおてつだいで、よくすることをおしえてください

(あてはまることすべてに☑をする)

そうじをする せんたくをする ごはんのじゅんぴをする

かぞくにごはんをたべさせる かぞくのトイレのおてつだいをする

かぞくのおむつをかえる おとうとやいもうとのおせわをする

そのた おてつだいを、あまりしない

6. あなたは、いえでのおてつだいがたくさんあってたいへんなときがありますか

ある ときどきある ない

「家での生活」アンケート【中・高学年用】

○あなたの「家での生活の様子」について、思っているとおりに答えてください。

() 年 () 組 名前 ()

○あてはまるものに☑をしてください。

1. あなたは家が楽しいですか

楽しい 楽しくない どちらでもない

2. 家族に、病気や障がいがある人はいますか？

いる いない わからない

「いる」と答えた人に質問です

1a それは誰ですか？ (あてはまる人、全員に☑をする)

父 母 兄姉 弟妹 祖父 祖母 その他

1b その人はその病気や障がいのために何かサービスや支援を受けていますか

うけている うけていない わからない

3. 病気や障がいがある家族を多くお世話している人は、誰ですか？

(あてはまる人、全員に☑をする)

あなた自身 父 母 兄姉 弟妹 祖父 祖母 その他

4. あなたが、家のお手伝いでよくすることを教えてください。

(あてはまることすべてに☑をする)

掃除をする 洗たくをする ご飯の準備をする
 家族にご飯を食べさせる 家族のトイレの手伝いをする 家族のおむつをかえる
 弟や妹のお世話をする 通訳をする その他 お手伝いをあまりしない

5. あなたは家のお手伝いに時間がかかって、学校の宿題や自分の好きなことができないことがありますか

よくある ときどきある ない

6. あなたは、家のお手伝いで困ったとき、相談できる人はいますか

いる いない